

入院患者

(2020年4月1日～2021年3月31日)

●総人数　：　316名

●対象疾患内訳

1	脳血管疾患などの発症後もしくは手術後（高次脳機能障害含む） 義肢装着訓練を要する方	74名	23.4%
2	大腿骨・骨盤・脊椎、股関節、もしくは膝関節の骨折または2肢以上の多発骨折の 発症または手術後の方	212名	67.1%
3	外科手術または肺炎等の治療時の安静により廃用症候群を有しており 手術後または 発症後の方	3名	0.9%
4	大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の神経、筋又は靱帯損傷後の方	2名	0.6%
5	股関節または膝関節の置換手術後の方	25名	7.9%

●入院期間(疾患別)

	入院期間
全体	78.4日
脳血管疾患	79.9日
整形疾患	53.3日
廃用症候群	82.0日

当院回復期リハビリテーション病棟の実績

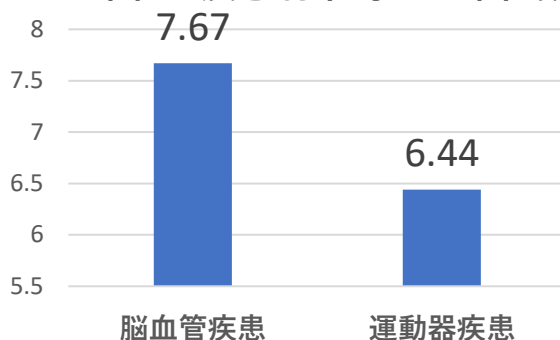
(2020年4月1日～2021年3月31日)

リハビリ単位数

6.8単位

1日の1人の患者様のリハビリ時間を表します。1単位＝20分に相当し、3単位で1時間です。

図1：疾患別平均リハ単位数



自宅復帰率

88.1%

退院された患者さんの人数のうち、自宅退院またはそれに準じる施設に退院された方の割合

重症者受け入れ率

43.8%

入院された患者様のうち、日常生活能力が著しく低下してしまっている重症者の受け入れ率（重症者とは入院時に日常生活機能評価表で10点以上の患者様）

重症者改善率

54.3%

入院時に重症者患者様が、退院時に改善している割合（入院時と比較して、退院時に日常生活機能評価で4点以上改善）

●入院時と退院時のFIMの変化

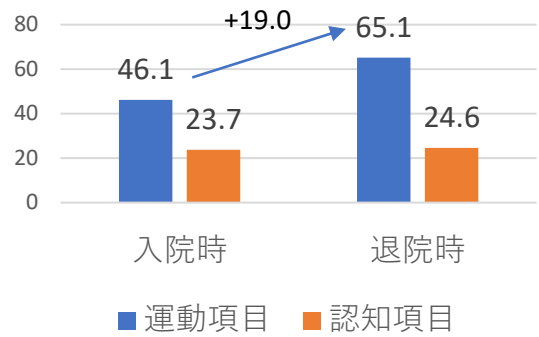
FIM利得24.4点

日常生活動作能力（FIM
点数）の改善点数
（退院時FIM点-入院時
FIM点）

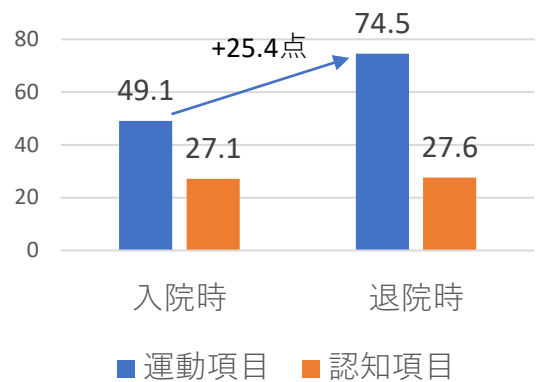
FIM実績指数49.7

施設基準40
（回復期リハビリテー
ション病棟入院料1）

脳血管疾患



運動器疾患



$$\text{FIM実績指数} = \frac{\text{各患者様の（FIM運動項目点数の他院時と入院時点数の差）の総和}}{\left(\frac{\text{入棟から退棟までの在棟日数}}{\text{状態ごとの回復期リハビリテーション病棟の入院上限入院日数}} \right) \text{の総和}}$$

※FIMとは

機能的自立度評価表「Functional Independence Measure」の略で、日常生活動作の評価法です。

評価項目は運動項目（13項目）、認知項目（5項目）の18項目から構成され、それぞれの介助量や自立度を下記の7段階で指数化した評価です。

点数が高いほど自立度が高いことを表します。

合計点数は126点満点（最高126点、最低18点）です。

運動項目①食事 ②整容 ③清拭 ④更衣（上半身） ⑤更衣（下半身） ⑥トイレ動作
⑦排尿管理 ⑧排便管理 ⑨移乗（ベッド・椅子・車椅子） ⑩移乗（トイレ）
⑪移乗（浴槽・シャワー） ⑫歩行・車椅子 ⑬階段

認知項目①コミュニケーション 理解 ②表出 ③社会的交流 ④問題解決 ⑤記憶

7点：完全自立 6点：修正自立 5点：監視（見守り） 4点：最小介助（75%以上実施）
3点：中等度介助（50%以上実施） 2点：最大介助（25%以上実施） 1点：全介助